

# 由良川とともにいきる

皆さんのまちを流れる「由良川」のことを知ってほしい。

由良川流域にお住まいの皆さんに、由良川のことを知っていただくために、3回の連載で由良川における近年の水災害と対策を紹介いたします。第1回は、近年の水災害と関係機関と協力した福知山河川国道事務所における浸水被害を減らす取り組みについて紹介いたします。

## 『暴れ川』の名を持つ由良川

由良川は中流部に標高の低い福知山盆地があり、そこから河口までの下流部では川幅が狭く勾配が緩やかになっていくことから、中下流部ともに水災害が起りやすい地形となっています。堤防がなかったころの由良川では、洪水がたびたび発生し、幾度も

## 全国で頻繁に発生する水災害

近年、水災害は由良川だけでなく全国各地で毎年のように発生しています。平成27年関東・東北豪雨による鬼怒川の決壊・氾濫、平成28年台風10号、平成29年九州北部豪雨、平成30年7月豪雨など、大きな被害が発生しました。近年の水災害は「これまで大規模な台風が襲来しないもの」となっています。「今まで大丈夫だったからこれからは大丈夫」といった考えは危険です。大きな洪水に対する備えや浸水被害を減らす取り組みが必要です。

## 由良川沿いの浸水被害を減らす取り組み

浸水被害を減らすための取り組みは、安土桃山時代の明智光秀以来、長年にわたり続いています。明治時代には福知山大堤防が造られ、昭和22年から国による河川改修が本格化し、綾部市や福知山市の市街地周辺での築堤や下流部での大規模な河道掘削などが行われてきました。近年では、洪水により大きな被害が発生したことをふまえて、次のような対策も実施しています。

### 平成16年台風23号被害をふまえた対策

平成16年10月台風23号は、福知山地点で戦後第2位(当時の)の水位を記録した大洪水で、下流部で役場などの防災拠点や多くの家屋が浸水被害を受けました。この被害を受け、「由良川下流部緊急水防対策」として、下流部の地域を対象に由良川の洪水で家屋などが浸水しないよう、輪中堤や宅地かさ上げの対策を実施しました。



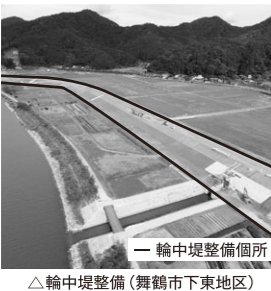
これまで外水氾濫の対策だけでなく、関係機関と連携して市街地の内水氾濫への対策も行ってきましたが、平成26年8月豪雨では福知山市街地を中心に広く浸水し、約4500戸が被害を受けました。この被害を受け、福知山河川国道事務所、京都府、福知山市は「由良川流域における総合的な治水対策協議会」を設立し、関係機関とさらに連携を強化し総合的な治水対策を実施しています。

### 平成26年8月豪雨被害をふまえた対策

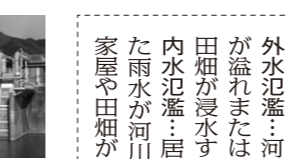
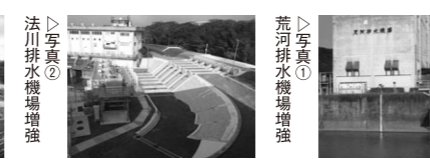
### 平成25年台風18号被害をふまえた対策

平成25年台風18号では約1600戸余りの家屋が浸水しました。この被害を受け、「由良川緊急治水対策」として、堤防整備や宅地かさ上げなどの対策を集中的に実施しています。

輪中堤と宅地かさ上げ：集落が散在する地区では、短期間で効果的に浸水被害を防ぐ対策として、輪中堤の整備や宅地かさ上げを実施しています。連続堤と河道掘削：家屋が連続し市街地が形成されている綾部市から福知山市にかけては、連続堤を整備しています。また、洪水時の由良川水位を下げるため、川の土砂を取り除く河道掘削も実施しています。



次回■近年増加している洪水や豪雨の特徴と行政の取り組みを紹介します。

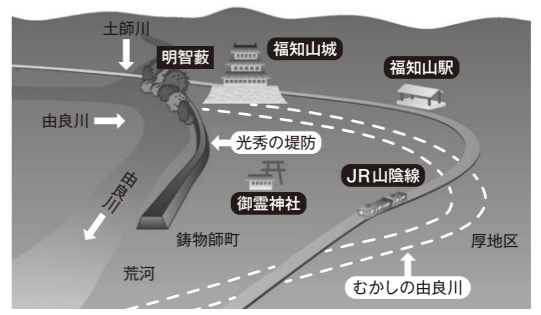


国土交通省 近畿地方整備局 福知山河川国道事務所  
TEL.0773-22-5104(代表)  
『由良川とともにいきる』の詳しい内容はコチラ▶  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/fukuchiyama/yuragawa/index.html>

福知山市 水害に強い安心・安全なまちづくりシンポジウム  
～局所化・集中化・激甚化する気象状況に向けて～  
日時/令和2年3月1日(日) 13:30～  
会場/ハビネスふくちやま 4階ホール  
<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/bousai/19711.html>



△平成26年8月豪雨による福知山市街地の浸水状況



△明智光秀による由良川の改修(イメージ)